

自立と共生！

たくましい日本！

No. 218号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2004年6月20日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugin.go.jp

○民主党マニフェスト発表

参議院選挙は7月11日

参議院選挙向け民主党マニフェストが発表されました。重点政策8項目が私たちと国民との約束です。

1. 議員年金の廃止、全ての年金制度の一元化を約束します。
2. 国の補助金、負担金の18兆円を地方の財源(地方税)に切り替えて、地域の工夫で地域の元気を出します。
3. 農業従事者の所得を底上げする「直接支払い制度」に補助金1兆円を全面切り替えします。
4. 市場の「事業規制撤廃」で、外からの新規参入が可能になり、消費者サイドからのルール作りで公正な競争を実現します。
5. 若者向け「ヤング・ワーク・サービスセンター」を整備して資格取得やキャリアアップを支援。
6. 教育分野での国の役割を縮小して、地域からの教育力を大事にします。
7. アメリカとの対等パートナーの構築と国連、アジアを重視する事で外交の転換をはかります。
8. 政治は、政治家自らの襟を正すことで信頼回復。国民に正直な政治を目指します。

詳しい話は、衆議院の時のような立派な冊子にまとめられる予定です。衆議院の総選挙までは、参議院で勝っても、即、政権交代とは行かない事は悔しいことです。しかし、参議院で多数を取れば、少なくとも年金法の廃止法案を参議院から提出させて政府の歩み寄りの中で年金改革を原点に戻す事ができます。これから争点になるであろう教育基本法や憲法問題も、自民党の強引ななし崩しは、阻止が出来ます。国民にもう一度政治に振り向いて欲しい。ここが参議院の勝負です。

細田官房長官と川口大臣、石破大臣との論議になりました。

ハッキリした事がいくつかあります。第一に、現状のイラクで自衛隊が活動しつづける事は、憲法に違反していること。政府は、自衛隊を派遣する地域は非戦闘地域だから大丈夫だと言います。アメリカがイラク全体をコンバット・ゾーン(戦闘地域)として戦っていても、自衛隊の派遣されている地域だけは、色合いが勝手に変わって、戦闘は起こらないと言う理屈は詭弁です。第二に、多国籍軍の指揮下に入らないから武力と一体化されることはないという話も日本の独りよがりです。アメリカの国防省高官がアメリカの議会で証言している内容が明らかになりました。多国籍軍の指揮は、アメリカがとり、日本やイギリス、イタリアなどは、同じ立場で多国籍軍に参加すると言いつけています。

どの話にも共通するのは、日本政府の勝手な理屈付けです。周りの情勢に関係なく、総理大臣が「自衛隊は武力行使をしない。」と言っているから、大丈夫だと言うのは詭弁です。客観情勢はどう見ても戦闘状態であるし、仮に自衛隊がその中で攻撃を受けたら、現地多国籍軍の指揮下で戦うことをせずに、一方的に逃げ出す事しか出来ません。これは、自衛隊の悲劇です。

アメリカ追随だから、本来、日本には出来ないことまでムリをしてしまっている。憲法議論を避けなくて、この際、私たち日本国の意志を固めることが大事だと思っています。

○国民の政治家に対する不信を痛感。励ましと期待バネに

前回でお知らせした恒例の国政報告会を、各地で終える事が出来ました。「正春さん、民主党にはしっかり期待しとんのに、もう1つ頑張りがたり

○閉会中のイラク特別委員会

小泉総理には逃げられました

国会の最後にイラク特別委員会の質問に立ちました。本来は、小泉総理が出席して国会に対する説明責任を果たす。これが主眼の委員会開催だったのですが、逃げられてしまいました。

ん。」「参議院の選挙に乗りが悪いのは、政治家に期待するところがないといわなければならないほどに、国会議員に対する信頼が落ちているから。」等々ご意見をいただきました。謙虚に、反省するところ大です。ここをバネに頑張ります。

「正春さん、だいぶ肥えたな。」これも身にこたえました。ニガリダイエットというのを、始めました。5キロ減を目指します。